

アイテム

いたみホール
アイホール
ラスタホール
伊丹アイフォニックホール

アイテム'00 vol.12

文化情報紙

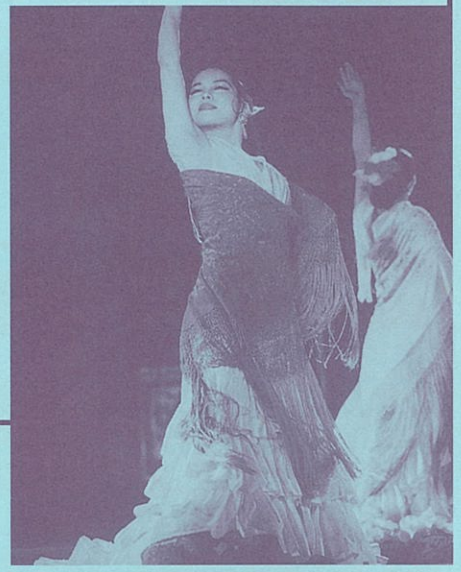
(財)伊丹市文化振興財団

'00夏のイベント特集

こどもじゃなくても、夏が来るのを心待ちにしている人は多いはず。海や山もいけれど、身近の市内のホールでもいろいろなイベントが盛り沢山です。メカ虫、フラメンコ、演劇ワークショップなどなど、今年の夏のあなたにフィットするのはどれ。

夏だ！笑いだ！狂言だ！
狂言ワークショップ
ラスタホール

～いたみホールにメカ虫発生～
『白石卓也の昆虫再生』
いたみホール



アイフォニック・ワークショップNo.13
『フラメンコ 炎の舞踊に挑戦』
伊丹アイフォニックホール

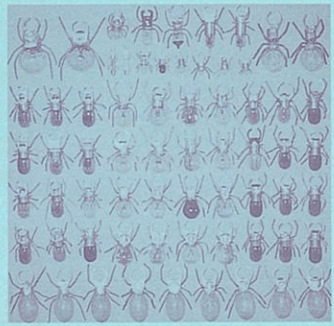
能と一緒に演じられる笑いの芸能「狂言」。狂言のせりふや動作には決められた型があり、それがときにオーバーに感じられ、わかりにくいとられることもあるようですが、それらの型



はあくまでも実際の動きや感情に裏打ちされ、そこに修行と鍛錬が加わって、独特のリアリティとおかしみが生まれています。庶民の生活に深く根ざし、当時の社会や時代を確実に反映しているからこそ、狂言の笑いは今の時代にも通じる新鮮な魅力が感じられるのです。今回は、大蔵流若手狂言師として活躍中の善竹隆司さんをお迎えし、お話だけでなく、実際に身体を動かして、狂言のおもしろさに迫ります。大人も子どもも大歓迎。古典芸能の世界をちょっぴりのぞいて、夏の暑さを思いっきり笑い飛ばしてみませんか。

8月27日(日) 14:00~16:00
一般800円/中学生・小学生500円

いたみホールのロビーを覗いてみると…虫、虫…驚くほどの虫。ロビーの柱に、床に、壁に、いる、いる、メカ虫。皆さんは最近、身近にすんでいる昆虫を観察していますか。忙しい毎日、身近にすむ虫達は忘れられた存在かもしれません。じつはメカ虫も、わたしたちが普段捨て去り忘れられたものたちでできています。切れた電球、缶ジュースのプルタブ、針金の切り屑…。それらは、虫に再生して、いたみホールに生息しています。ユニークな表情のメカ虫に会いに来てください。



<メカ虫発生期間>
8月中旬(予定)
ワークショップ「メカ虫をつくろう」もあります。
※詳しくは、いたみホールまで お問い合わせ下さい。

AI・HALLグロウアップ事業
こどものための演劇ワークショップ
『元気！えんげき2000』
アイホール

(実演・指導) 井上圭子 (小松原庸子スペイン舞踊団) 他
18世紀の終わり頃、スペイン南部アンダルシア地方で産声を上げたフラメンコ。元々はアンダルシアに伝わっていた民謡や舞踊に、17世紀以後この地にやってきたジプシーたちの独特な音楽的感性が加わって誕生したものと考えられています。恋の喜びや悲しみ、宿命的な悲哀、自由への渴望…。心の底から沸き起こる激情を歌、踊り、ギターに託すフラメンコ。今回はその踊りに挑戦します。指導は、井上圭子さん。ステップや独特の腕の動き。フラメンコの踊りのエッセンスに触れてみませんか。初めての方、大歓迎です。

8月27日(日) ①13:00~15:00
②15:30~17:30
大人1500円/小・中・高校生700円
(要電話予約)
会場/小ホール1

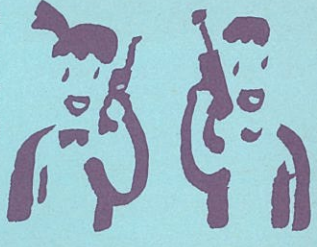
講師/生田萬(プリキの自発団)
アイホールでは小学3年~6年生を対象にしたワークショップを開催します。「えんげき」という道具を使って、いっしょに遊んでくれるお友だちを大募集します。自分たちで布や紙などを使って衣装や美術を作り、最終日には

私・空・感 another time another place

武部好伸/エッセイスト・日本ペンクラブ会員

対面会話がお嫌い?
先日、実に奇妙な光景を目の当たりにした。とある公園のベンチに座っていた若いカップル。30分間、2人は周りの光景をぼんやり眺めたり、雑誌をバラバラ開いたりするだけで、一言も言葉を発しない。(しゃべるのが好きではないんだ)。ぼくはそう解釈した。ところが2人が腰を上げ、その場で別れた直後、青年が携帯電話のダイヤルをプッシュした。相手は何と今まで一緒にいた彼女。そして2人は距離を遠ざけつつ、携帯電話でべらべら話し始めたのである。

面と向かうと話せない? そう言えば、テレビで若いカップルの"生感"を追った番組があったが、驚くなかれ、8時間のうち2人の会話はわずか20分だけ。喫茶店に入ってもひたすら漫画を読みふける。ぼくらの時代ではデート中の沈黙が一番怖かったのに……。対面会話拒否(嫌悪)症候群。こんな奇妙な病気がヤングを中心に広がっているみたい。対人関係の未熟さに起因しているようだが、昨今、続発するストーカー犯罪もこれと決して無縁ではない。「相手の目を見て話せ!」。親や先輩諸氏からよく言われたこの金言が死語にならないことを切に願う。



アイホール 伊丹市伊丹2-4-1 TEL: 0727-82-2000
■JR伊丹駅前 ■阪急伊丹駅東へ徒歩10分

伊丹アイフォニックホール 伊丹市宮ノ前1-3-30 TEL: 0727-80-2110
■阪急伊丹駅北へ徒歩4分 ■JR伊丹駅西へ徒歩7分

ラスタホール 伊丹市南野2-3-25 TEL: 0727-81-8877
■阪急南野駅西へ徒歩8分 ■阪急伊丹駅より伊丹市バス系統(37) 阪急塚口行 ■阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統(37) 阪急伊丹行ほか

いたみホール 伊丹市宮ノ前1-1-3 TEL: 0727-78-8788
■阪急伊丹駅北へ徒歩3分 ■JR伊丹駅西へ徒歩8分

るコンサートシリーズvol.3。
昨年、浴衣に身を包んで、6連弾に挑戦した仲良し6人組や大曲「悪魔的啓示」を熟弾した少年など、ソロ・連弾合わせて162組の市民ピアニストが参加。3回目となる今回は、新たにピアノと異種楽器で協奏するジョイント部門も加え、ソロ・連弾含めて見所たくさん、まさにピアノ三昧の一日。今年はどんなピアノパフォーマンスが登場するのでしょうか?

ピアノに興味がある方もない方も、身近な”アーティスト”を見つけにいたみホールへLET'S GO!

8月20日(日) 開演午前10時(予定) (開演時間が変更する場合があります。お問い合わせ下さい。) 入場無料

アイテム'00 vol.12 (通巻15号)
2000年7月1日発行
発行(財)伊丹市文化振興財団 〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3 TEL 0727-78-8788 FAX 0727-78-8585
編集●アイテム編集委員会 デザイン●AIRS ※次号アイテムvol.13は10月頃発行予定。

アイホール 23日(日) 14:00
24日(月) 19:00
3500円(前売・当日共通) ◎全席指定席

●提携公演
ランニングシアターダッシュ『FLAG』
作・演出/大塚雅史

毎夏恒例となったダッシュのロングラン。今回の新作は「サッカー演劇」。おまけにミステリー仕立ての意欲作。誘拐犯の要求はそのゲームに勝たないこと。タイムリミットは90分。全編走り続けます。

7月14日(金) 19:30
15日(土) 14:00/19:30
16日(日) 14:00
17日(月) 19:30
19日(水) 19:30
20日(祝) 14:00
21日(金) 19:30
22日(土) 14:00/19:30

7月27日(木) 19:30
28日(金) 19:30
29日(土) 15:00/19:30
30日(日) 15:00
31日(月) 19:00

2800円(3000円) ◎日時指定 整理番号付き自由席

ラスタホール 伊丹市南野2-3-25 TEL: 0727-81-8877

伊丹アイフォニックホール 伊丹市宮ノ前1-3-30 TEL: 0727-80-2110

夏休み子どもスポーツ教室
シンクロナイズドスイミング
今年開催されるシドニーオリンピックでも、活躍が期待されるシンクロナイズドスイミング。磨き抜かれた技と華麗さで、見る者をひきつけます。この教室の講師には、伊丹在住の世界選手権で2位の実績を持つ、阪育子さんと末浪昌子さんを迎えます。阪育子さんはシンクロナイズドスイミングを通じて、「素晴らしい人々と出会うことができ、また自己管理の厳しさやトップでありつづけるための努力の大切さを知ることができた」と語っています。普段めったに体験することのないシンクロナイズドスイミングにあなたも挑戦してみませんか。

ほか
9月23日(祝) 14:00 予定
一般1000円/高校生以下500円
※全席自由
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

いたみホール 伊丹市宮ノ前1-1-3 TEL: 0727-78-8788

8月23日(水)~27日(日)
7:45~9:00
小学4年生~中学3年生の10m以上泳げる方対象
参加料4550円 定員20名(先着順)
申込は6月17日(土)9:00~来館者のみ受付。定員に余裕がある場合6月18日より電話でも可。

市民ピアノリレーコンサート2000
舞台の上にピアノが3台?! スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ。3台のフルコンサートピアノを使って市民ピアニストがリレー形式で演奏す



出来上がったお芝居を家族の方に見ていただきます。元気に楽しく「えんげき」で遊んでみませんか。

8月16日(水)～20日(日)

AI・HALLグロウアップ事業
夏休み中学生のための
演劇ワークショップ

アイホール

講師／岩崎正裕(199Q太陽族)
関西を代表する劇作家・演出家の



大江健三郎と光による
講演&コンサート

聴衆の胸に響く、大江健三郎の
講演と光の音楽。

いたみホール

大江健三郎は「小説は人間について根本的に、かつ総合的、具体的に、つねに一からはじめるような新し



岩崎正裕さんを講師に迎え、中学生を対象にした演劇のワークショップを開催します。

8月6日(日)～7日(月)

AI・HALLグロウアップ事業
夏休み高校生のための
演劇ワークショップ

アイホール



講師／土田英生(MONO)
京都を拠点に活動する土田英生さんを講師に迎え、高校生を対象にお芝居の創り方を中心とした演劇ワークショップを開催します。

8月2日(水)～4日(金)(予定)

※以上のワークショップについての詳細・及び問い合わせはアイホールまで。

い心で把握しようとする営為です」と語っています。息子光の音楽も同様に、優れてみずみずしい感性により日々新しい音楽をつくりだしています。父子ともに創作活動は、生きることと一体であり、読者、鑑賞者は、その日々新しい響きに、自らの心の中になにか美しいものを発見したような気持ちになることでしょう。

大江健三郎、光の作品は、多くの困難を通して生まれてきたものだからこそ、ただ美しいだけではなく深い奥行きをもって聴く者の心にせまってきます。

10月15日(日)14:00

全席指定席

1階席2500円 2階席1500円

介護者割引

[本人と介護者1名3500円]

※1階席のみ いたみホールで取扱い

7月16日(日)発売予定

ITAMI Abend Concert
vol. 54

木管楽器&ピアノが奏でる
魅惑の調べ

ラストホール

第4回宝塚ベガ・コンクール第3位入賞し、リサイタル他大阪センチュリー交響楽団との共演など活躍しているクラリネット奏者・杉本由美を中心に、フルート、ホルン、オーボエ、ファゴットから構成されるリリーエ木管アンサンブルとピアノによるコンサート。やさしいお話とともに、わかりやすい曲目を優れた演奏で、おとどけいたします。

曲目

ビゼー作曲 メヌエット
エルガー作曲 愛のあいさつ
モンティ作曲 チャルダッシュ
サン＝サーンス作曲 ロマンس
ヨハン・シュトラウスⅡ作曲
ピッツィカート・ボルカ
ジョプリン作曲
エンターティナー
ほか

プログラム
第1部<講演>
「私が若かった頃」大江健三郎
第2部<コンサート>
大江光作品集
人気のワルツ、夜のカプリース、卒業他(予定)

【いたみ寄席】
米朝一門 若手の会

いたみホール

この春、満員御礼の大盛況、大和室を笑いで包み込んだ『いたみ寄席 若手落語会』皆様のご期待にお応えして、第二弾開催決定！最後まで高座まで10メートル！

7月20日(祝)14:30

一般1600円(2000円)

高校生以下・60歳以上

1200円(1500円)

※ジュース・ワインサービス付き

アジアを知ろう vol. 2

ぼとるねっくえがしら
with ゆかり

ラストホール

数々の珍しい楽器を手に、オリジナル曲や世界の大衆音楽を歌い、演奏する夫婦ユニット“ぼとるねっくえがしらwithゆかり”。12歳でギターを手にして以来、ブルースやソウルを出発点に、アジア、アフリカをはじめ全世界の音楽に興味の目をむけてきた“ぼとるねっくえがしら”。94年に、自主制作カセット『ドゥニヤ・ケ・ガーナ』(ヒンディー語で“世界のうた”という意味)を発表、音楽誌上で絶賛され、また、南インドの各地への演奏旅行の際には、スタジアムで1万人の観衆の前で演奏した経験ももちます。そして、現

座布団に、畳の匂。霧田気満点の小屋の中、米朝一門・気鋭の噺家6名が次々と織り成す熱こもる芸を表情、息づかいがわかるほど真近で鑑賞！落語ファンならずともたまらないこの贅沢な生の一席、定員はわずか90名。売り切れ必至のいたみ寄席若手落語シリーズ。ぜひ、お見逃しなく！

8月24日(木)

開場18時 開演18時30分



笑いははぐくむ楽しいひとときをどうぞ。
(写真は今年3月の若手会)



在、妻のゆかりとともに、関西を中心に精力的なライブ活動を行っています。ギターとアコーディオンを中心にインドの両面太鼓「ドーク」、中近東の弦楽器「ウード」を使って、「何でもありのごった煮音楽」を披露します。インドのフィルムソング(映画音楽)、ブラジルのサンバ、ブルース、ソウル、ロック、はたまた演歌まで…。2人のオリジナル曲もまじえながら、アジアを中心とした世界中のホットな音楽を気軽に楽しんでください。日本ではめったにお目にかかれない楽器も登場します。「えがしら流・世界のはやり歌」にゆったりと身をゆだねてみませんか？

9月2日(土)15:00

無料

会場/エントランスホール

いたみホール大和室

全席自由

前売1800円/当日2000円

(残券がある場合)

いたみホールで絶賛発売中！

【出演】

桂 ござろう
桂 宗助
桂 む雀
桂 小米
桂 都丸
桂 雀三郎

アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO.83

『西アジア・
音楽散歩』

伊丹アイフォニックホール

<講師>水野信男
(兵庫教育大学教授)

7月3日(月)

19:00~20:30

1500円(要電話予約)

会場/小ホール1

*当講演に連動した公演があります。



アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO.84

『ハンガリー
民俗芸能の豊かな世界』

伊丹アイフォニックホール

<講師>横井雅子
(桐朋学園大学講師)

9月11日(月)

19:00~20:30

1500円(要電話予約)

会場/小ホール1

*当講演に連動した公演があります。

アイフォニック
地球音楽シリーズ NO.71

“チャイハナの
吟遊詩人たち”

伊丹アイフォニックホール

<出演>アゼルバイジャン民族音楽団
「ダルガ」

イラン北西部のアゼルバイジャン州、この地域は旧ソ連のアゼルバイジャンやアルメニア、トルコ、イラクと国境を接し、古代以来東西の様々な文明が交錯した所です。この多様な文化を吸収しながら、アゼルバイジャンの音楽は伝承されてきま

した。中でもアシュークと呼ぶ吟遊詩人の音楽は、今でも人々の生活に深く関わっています。サーズという西アジアに特有の弦楽器や片面太鼓のデフ(タンバリン



アイフォニック
地球音楽シリーズ NO.72

“絢爛、ハンガリアン・
ダンスのすべて”

伊丹アイフォニックホール

<出演>ハンガリー国立民族
アンサンブル

足の各部を器用に叩いてリズムをとりながら軽快なステップを踏む男性ダンサー。鮮やかな刺繍の施された衣裳を身に着けた女性ダンサーがくるくると回転する様子は、花がぱっと咲いたように華やかです。独特の音楽によって次々と繰り広げられる多彩なダンスに思わず目を奪われてしまいます。今回登場するハンガリー国立民族アンサンブルは、50年以上の歴史を持つハンガリー最大のアンサンブルとして、国内はもちろん、その他多くの国際コンクールで数々の賞を受賞し、ハンガリーの「至宝」と呼ばれているほどです。是非この絢爛なハンガリアン・ダンスの世界を味わって下さい。

10月10日(火)19:00

一般3000円/学生2000円

(500円UP) ※全席自由

※当公演に連動した講演があります。

